



高野校だより



校訓

至誠

進取

自治

協同

舞鶴市立高野小学校
令和7年度 学校だより
第11号
令和8年1月8日発行

〒624-0832 舞鶴市高野台1-1
Tel 0773-75-0768 Fax 78-3050
HP <https://takano-maizuru.edumap.jp>

年改まり 新たな一步

保護者の皆様、地域の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申しあげます。日ごろから本校の教育活動推進に対しまして、深いご理解と温かいご支援をいただきしておりますことに心よりお礼を申しあげます。

今から50年ほど前の小学生が、元日のことを書き記した日記を目にしたことがあります。その日記は、次のような内容でした。「今朝は、8時半に目がさめた。雨戸を開けると、まぶしい日の光が部屋いっぱいに広がった。元旦の光だ。前の晩にそろえておいた新しいズボンとセーターに着がえて、下におりていった。新しい服なので、少しつかしかった。こたつの上には、ごちそうが並んでいた。家族に『おめでとうございます』と手をついてあいさつをした。」元日の朝の清々しい様子が、とてもよく表れた日記です。「うれしい」「楽しい」という気持ちだけではなく、新年を迎えた緊張感とともに、「今年一年がんばるぞ!」という気持ちも伝わってきます。新年を迎えるというのは、昨日が今日になり、ただ日が変わっただけなのに、なぜか身も心も引き締まった気持ちになるものです。正月の「正」には「改まる」という意味があるそうですが、年が改まるという意味だけではなく、気持ちが改まったり、行動が改まったりするといった意味も含まれているのかもしれません。

いよいよ本日から第3学期がスタートしました。新たな年の始まりにあたり、目標や決意などを話し合う時間を取りていただいたご家庭もあることと思います。「1年の計は元旦にあり」ということで、「今年こそは!」という願いや目標を持たれたのではないでしょうか。

年の初めにあたり、大きな夢と希望を持ち、1年間を通して、その夢と希望の実現のために、また少しでも近づくように、一歩一歩、着実な歩みを積み重ねてほしいと願っています。

3学期は、1年間のしめくくりの大切な学期です。授業日は49日間と短い学期ではありますが、学年のまとめとして、また新学年への準備期間として、6年生にとっては、いよいよこの学び舎を巣立ち、中学校への進学に向けて助走をするとても大切な学期です。特に6年生には、一日一日を大切にし、自分を磨き、高め、高野小学校によき伝統を残して、力強く巣立ってほしいと願っています。

今年も高野小学校の教育のさらなる充実、心身ともに健全な児童の育成を目指して、教職員一同、精一杯努めてまいります。昨年に引き続き、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・お力添えをいただきますよう、本年もどうぞよろしくお願ひ申しあげます。

午(うま)年 どんな年



午年の由来は、十二支の7番目で、餅をつく杵(きね)の形から生まれた記号「午」が、南の方角や正午と結び付き、力強く活動的な「馬」のイメージが当てはめられたことにあります。馬は昔から豊穣や交通の要として重要で、前進や繁栄の象徴とされ、「午前」「午後」「正午」などの言葉にもその名残が見られます。

「午」は太陽が最も高い位置にある正午(真昼)を意味し、エネルギーが最高潮に達し、運気が大きく発展する時期を表します。そのため、勝負運や成功、開運の象徴とされ、馬が神様の乗り物として神聖視されてきたことから、交通安全や商売繁盛のご利益もあると信じられています。

干支で時刻を数える場合の数え方は、午前0時前後の2時間は「子の刻」とし、それ以降、2時間刻みで丑、寅…と順番に続いていきます。そうして数えていくと、ちょうどお昼の12時が「午の刻」になります。12時を「正午」と言うのは、このように12時がちょうど「午」であることに由来します。また、お昼の12時を境に「午前」「午後」と言うのも、「午の刻」より前か後かということです。時刻だけでなく、方角も同様に十二支で表されていました。方角では、北が「子」、東が「卯」、南が「午」、西が「酉」です。北極と南極を結ぶ線を「子午線」と言いますが、この単語も北(子)と南(午)に由来しているそうです。

馬の象徴として「行動力」「前進」「情熱」などがあげられますが、新しい挑戦や飛躍、物事の発展によいとされるパワフルな年です。どんなことでも前向きにとらえ、気持ち新たに行動に移し、力強く前進できる年にしたいものです。



校長 材木 敏志 教職員一同